

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①満期保有目的の債権…償却原価法(定額法) によっている。
- ②その他の有価証券で時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ①出版物…個別法による時価（売価）法によっている。
- ②貯蔵品…個別法による原価法によっている。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

##### リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

#### (4) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（簡便法による自己都合要支給額）に基づき、財団が負担すべき額を計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	820,476,348	288,920,562	0	1,109,396,910
小計	820,476,348	288,920,562	0	1,109,396,910
特定資産				
退職給付引当資産	29,941,985	2,029,445	0	31,971,430
運営資金引当資産	47,500,000	0	0	47,500,000
減価償却引当資産	4,582,149	0	4,582,149	0
基本財産準備資産	6,515,200	0	6,515,200	0
小計	88,539,334	2,029,445	11,097,349	79,471,430
合計	909,015,682	290,950,007	11,097,349	1,188,868,340

※減価償却引当資産及び基本財産準備資産は、令和4年度第4回理事会の決議に基づき、全額を目的外取り崩し、一般正味財産へ振替えている。

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	1,109,396,910	1,109,396,910	0	0
小計	1,109,396,910	1,109,396,910	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	31,971,430	0	0	31,971,430
運営資金引当資産	47,500,000	0	47,500,000	0
減価償却引当資産	0	0	0	0
基本財産準備資産	0	0	0	0
小計	79,471,430	0	47,500,000	31,971,430
合計	1,188,868,340	1,109,396,910	47,500,000	31,971,430

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末 残高	当期末増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
文化振興事業 補助金	姫路市	0	280,353,570	280,353,570	0	
国際交流事業 補助金	姫路市	0	36,961,458	36,961,458	0	
芸術文化振興 基金助成金	独立行 政法人 日本芸 術文化 振興会	0	1,584,000	1,584,000	0	
合計		0	318,899,028	318,899,028	0	

## 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細  
財務諸表に対する注記に記載しているので省略。

- 2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	29,941,985	2,029,445	0	0	31,971,430